

広島ITコーディネータ協同組合と 広島銀行との提携事例紹介

広島ITコーディネータ協同組合

広島ITコーディネータ協同組合とは

【広島ITコーディネータ協同組合について】

当組合は中小企業等協同組合法に基づき、広島県知事の認可により平成14年11月1日に設立された事業協同組合です。

当組合は中小企業および自治体等各種の組織・団体の「成功するIT投資」を支援するスペシャリスト集団です。

【広島ITコーディネータ協同組合の概況】（平成18年4月1日現在）

理事・監事	理事長 普家浩文 他理事合計5名、監事1名
構成員	法人・個人事業主 合計15社(ITC18名)
事業内容	情報化関連事業の共同受注

【広島ITコーディネータ協同組合の連絡先】

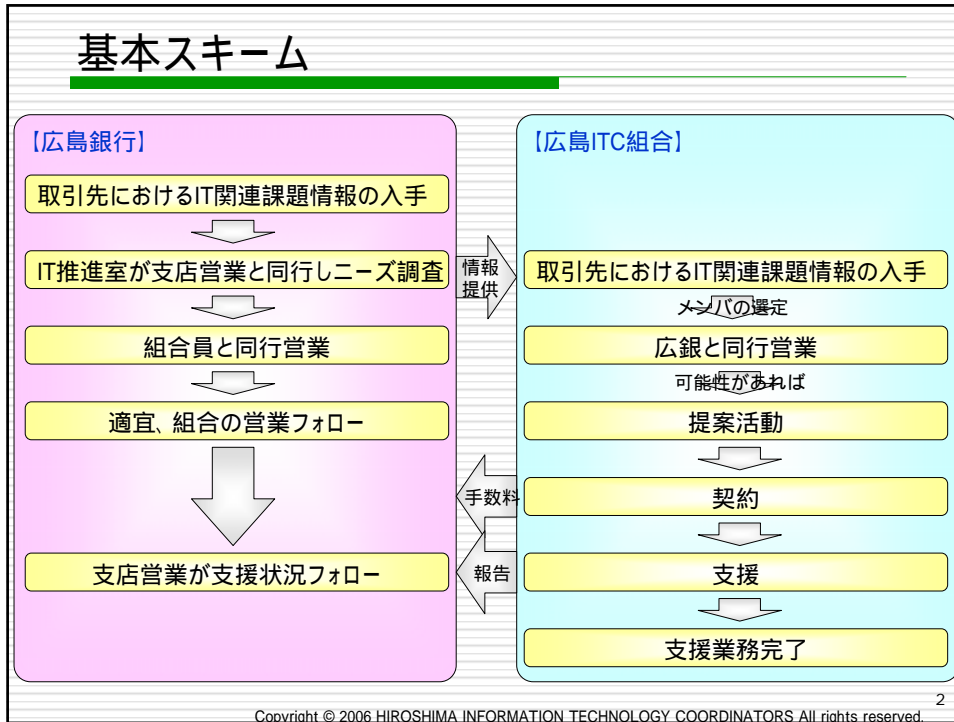
広島ITコーディネータ協同組合

Tel:082-511-1665 Fax:082-221-5071

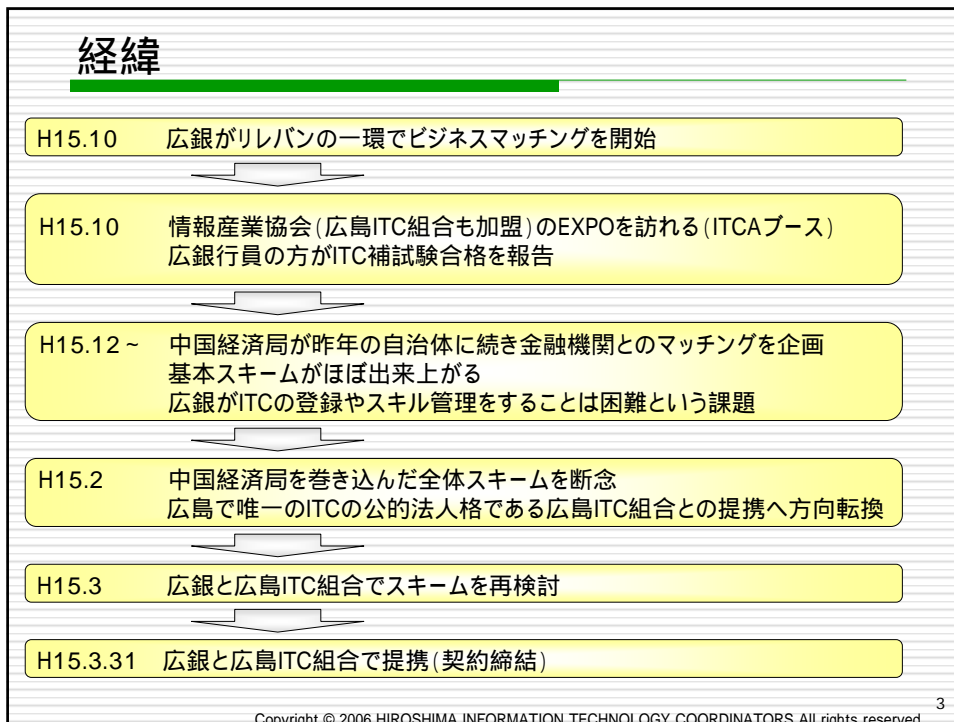
E-mail:info@h-itc.org URL<<http://www.h-itc.org>>

〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-8 第1ウエノヤビル2F (株)パルウェブ内

基本スキーム



経緯



補足:リレーションシップバンキングとは

- 定義(金融審議会が03年3月に公表した報告書)
「必ずしも統一的な定義は存在しないが、金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出などの金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデルを指すのが一般的」
- リレバンのメリット
貸出先企業の経営をチェックし、貸出の劣化を防ぐことにより、貸手(銀行)、借手(企業)双方の健全性確保を図ることが可能

金融審議会の報告

- 平成15年3月27日
金融審議会・金融分科会・第二部会報告
「リレーションシップバンキングの機能強化に向けて」
- 骨子
リレーションシップバンキングの意義と有効性
わが国のリレーションシップバンキングの現状
リレーションシップバンキングの機能強化の必要性と基本的考え方
リレーションシップバンキングの機能強化に向けた具体的な取組み
以上について検討を行い、「平成16年度までの2年間で地域金融に関する『集中改善期間』とした上で、それぞれの中小・地域金融機関が本報告書の提言に沿ってリレーションシップバンキングの機能を強化し、中小企業の再生と地域経済の活性化を図るための各種の取組みを進めることによって、不良債権問題も同時に解決していくことが適当と考えられる。」

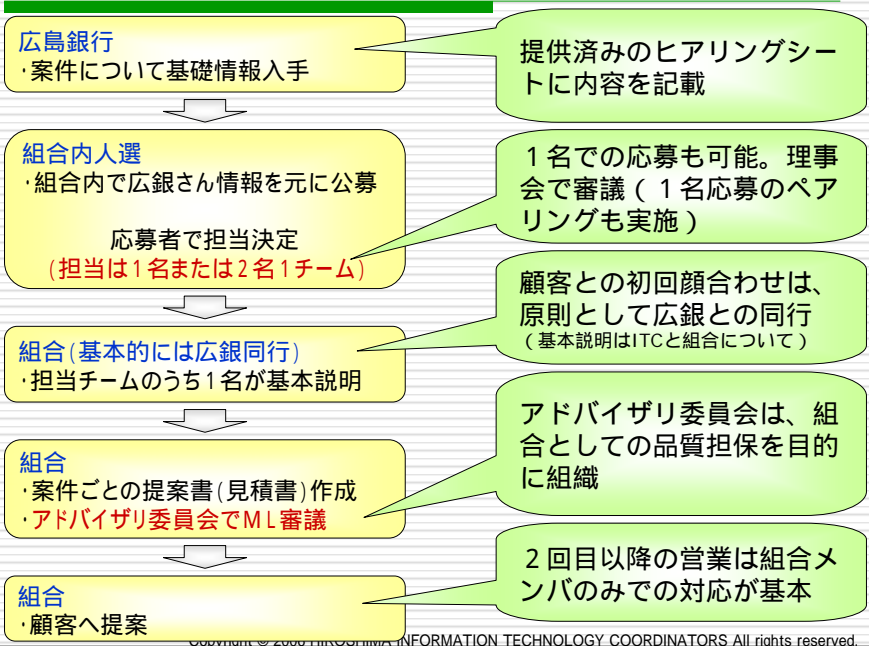
金融庁のアクションプログラム

- 平成15年3月28日
「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」
- 骨子
 - ・ 中小企業金融の再生に向けた取組み
 - 1. 創業・新事業支援機能等の強化（詳細省略）
 - 2. 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
 - (1) 中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の強化を図るため、各金融機関及び各業界団体に対し、経営情報やビジネス・マッチング情報を提供する仕組みの整備を要請する。
 - (2) 以下、省略
 - 3. 早期事業再生に向けた積極的取組み（詳細省略）
 - 4. 新しい中小企業金融への取組みの強化（詳細省略）
 - 5. 顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化（詳細省略）
 - 6. 進捗状況の公表（詳細省略）
 - 各金融機関の健全性の確保、収益性の向上等に向けた取組み（詳細省略）
 - アクションプログラムの推進体制（詳細省略）

全文は<http://www.fsa.go.jp/news/newsj/14/ginkou/f-20030328-2/01.pdf>

Copyright © 2006 HIROSHIMA INFORMATION TECHNOLOGY COORDINATORS All rights reserved. 6

提案活動段階の基本スキーム



Copyright © 2006 HIROSHIMA INFORMATION TECHNOLOGY COORDINATORS All rights reserved. 7